

平成27年度中山間「ふるさと支援隊」中間活動報告会  
事前提出資料

大学名 大東文化大学  
支援地区名 鳩山町高野倉

## 1 これまでの支援隊活動の成果

### ①大豆栽培

- ・7月4日（土曜日）播種
- ・7月31日（金曜日）中耕・培土
- ・8月～9月 生育状況の観察（10日に一度）

### ②加工品の開発（9月～10月）

枝豆をコンセプトにした加工品の考案

- ・「飲む枝豆」（10月15日の枝豆収穫体験（後述）で試飲会）
- ・「枝豆パン」（試作及び企業との連携による開発を計画中）

### ③広報活動（6月～10月）

- ・大豆栽培活動の詳細を、ホームページ等に掲載した。

- 1) 学部HP
- 2) 東松山農林振興センターHP
- 3) 元気いっぱい！！ 埼玉農林業
- 4) 広報はとやま（8月号）（2分の1ページの大きな扱い）

- ・ 亀井小学校3年生を招き「枝豆収穫体験学習」を開催。

10月15日（木曜日）午前11時～12時

ゲーム感覚での枝豆収穫体験、枝豆の試食、「飲む枝豆」の試飲など。

⇒学部HPに詳細な活動報告。広報はとやま（11月号）に記事掲載予定



「枝豆収穫体験」による活性化のためのトライアル事業（町、JA、地元組合）

### 先進地視察

10月25日（日）山梨県身延町西嶋会場「枝豆収穫体験」

ヒアリング内容

身延町役場、観光協会、地元生産者の連携

「収穫体験」の運営方法について

その他

## 2 支援隊活動を行う上での苦労や悩み

- ・土曜日にも必修科目があり、活動の日程調整が難しい。
- ・すべて1年生であり、中心となって動けるリーダーがいない。今年度はどうしても教員主導になりがちだが、しかし、来年度以後は解消されると思われる。
- ・学内地域連携事務局の人員不足  
活動をより活発にするために、関連機関などとの情報交換をする必要があるが、授業の片手間では限界がある。活動日の直前で慌てて準備をすることも少なくない。これは、悩みというよりも理想であるが、地元・行政と支援隊の連絡調整機能にあたる事務職員のサポートが欲しいところである。

## 3 支援隊活動について他校に質問したいこと

「ふるさと支援隊」の活動を、単位化する制度があるかどうか。もしあればどのような方式で認定するのかご教示ください。

※ 本学部には、学生の課外活動を奨励するための「DACIX＝Daito Asian Communication Index」という制度があり、「ふるさと支援隊」で活動している学生には、活動に応じて年間で最大15ポイントが付与されます。この制度では、20ポイントで2単位が認定されることになっております。3年連続で支援隊に積極的にかかわれば、45ポイント（4単位＋5ポイント）を得ることができるというわけです。

## 4 支援隊活動について他校に自慢したいこと

- ・「支援隊」を見守ってくれる「応援団」  
地元の指導者のみならず、鳩山町役場、埼玉JA中央、東松山農林振興センターの方々は、作業の際には必ずご参集くださり、いっしょに汗を流してくれる。学生たちの大きな励みになっている。
- ・学部ホームページに詳細な活動報告を掲載している。  
活動ごとに、しかも活動後3日以内に活動報告を作成することはそれほど簡単なことではないが、教員と地域連携センタースタッフや学生が協力しながら、このまま最終報告書に転載してもよいレベルの報告を目指して掲載している。予想以上に反響も大きく、今後とも継続していきたいと考えている。

以上